

教員採用選考試験 懸念対応は市町の判断で

考えている・思っている…実行できるのか！？

県教委 試験における教員採用選考

すべきものと考えている。
教員採用試験
における出題ミス
スがないようにするとともに
受験者が公平公正と感じら
れるよう面接時間を平等にす
ること。

香教組 働き方改革

香川県にいい
教師を迎えるた
めにも、香川県は定数内は正
規教員を採用して いるとアピー
ルすることも一つの策ではな
いか。

た。
6月の交渉で、義務教育調
長が「その権限は市町もある」
と言つたので、8月30日、三

香教組 新採の人才確保も大切である。そのため、香教組は、講師が教員採用試験受験は年休から職免対応へと長年要求してき
しながら、取り組みを進めていきたい。

県教委

部活動地域移行について

臨時教職員や非常勤講師の待遇を改善すること。

○定数内講師採用はやめ、全員教諭で採用すること。臨時の事務職員、栄養職員を正式採用にすること。

県教委 香教組

すべての教職員を正式採用にすることは困難である。

賃金などの待遇や勤務環境の改善を図り、優秀な人材確保に努めること。

県教委

県でもそれを受けて、2024年度を待つことなく、年度途中からでも改善を進めるようについての内容の通知を東町教委に出した。学校行事についても、それぞれの教育価値を検討し、単に前例や慣例で行っているものについてはやめ、教育の真理を追求できるものに精選し、新たな取り組みをと通知を出している。

教員の負担軽減という面から、学校業務支援員等の専門

県教委 県教委としてできることでは、市町教委が判断するところであるということには変化がない。市町教委が判断するにあたって、参考となる事例が必要だろうということでは、情報提供していくたいと思っている。それを踏まえて判断してもらいたい。

人材確保に ついで
新規採用者の
十画的な採用、

香教組を正式採用にす
すへの教組

改革はついでに業務の適正化を図ることが重要であることは承知している。8月末に中教審の緊急提言を踏まえて通印が出されていく。

準備を進めているところだ
近々の件の状況を調べ、条件
がそろえば今年度中にも決定
したいということだった」と
の話があった。その点はござ
る。

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

が安心して教員採用選考試験を受験することができるよう努めてまいりたい。面接については、面接時間を平等にするために、時間を計測しながら実施している。

てきているが、まだまだ不十分。教育条件整備も両輪で進めなければ、教員離は止められないだろう。新たな具体的な策をお願いしたい。

豊市教委との交渉で教育長に訴えながらお願いした。教育長は「それなら来年度からあります」との回答を得た。

後日、教育長から「県にも確認した。現状を踏まえて、

冬季休業まで指
折り数えて待つて
いるのは子どもだ
けではないでしよう▼息をつく
間もない毎日の中でも、少しホツ
とできるのが長期休みです。一

れる「香川県中学校部活動地域移行等推進協議会」を立ち上げ、本県の中学校部活動の現状や部活動改革の必要性について共通理解を図るとともに、本年度、国の委託を受け地域移行等に向けた方策を探るための実証事業に取り組む市町の取組み等について情報共有を行つた。

さらに、この協議会のもと、実務担当者によるワーキンググループを設置して意見交換・情報共有の会議を定期的に開催するなど、会議の活性化に取り組んでいるところである

県立高松高等学校　本年度から、県や市町に対し部活動の地域移行・地域連携の推進に向けた課題解決方策や、地域の事情を反映した取り組み等に関して、指導・助言等を行う総括コーディネーターを配置するとともに、指導者的人材確保を支援するため、指導に協力できる人材を登録し、市町と指導者のデータを共有する全県的なデータベースシステム、いわゆる「人材バンク」の今年度中の構築に向けた準備を行うなど地域の実情や部活動の種目に応じた対応を行うこととしている。

部活動の地域移行に当たつては、新たに生じる保護者等の費用負担の課題も大きいことから、国の責任において必要

な財政措置を講ずるよう、強く要望していきたい。

大会の精選等について、「香川県中学校部活動地域移行等推進協議会」において、大会の全体像について把握するとともに、県中学校体育連盟や各競技団体等の考えも踏まえ、適切な大会の在り方について検討を働きかけていきたい。

取り組みを進めていることは承知している。現場の意見を聞く場合、香教組などの職員団体や校長会など、他の団体の意見を聞くことはあるのか

「香川県中学校部活動地域移行等推進協議会」に、県のスポーツ協会、中学校長会、中体連、中学校文化連盟など、関係者に入つてもらい、そうした人の意見を聞きながら進めていきたいと考えているところである。

香教組を含む職員団体は入れる考え方はないのか。

立ち上げの段階では入っていない。こういった場で意見を聞きながら、県教委でも話し合っていきたいと考えていることを。

地域移行の進み具合は、地域によって温度差がある。なかなか進んでいない市町への対応が重要ではないか。県としての人材確保についての考え方。

県教委 3年度、「人材バンク」を立ち上げる準備をしている。これを活用して各市町の指導者不足を補えるようにしたいと考えている。

市町によつて取り組みに差がある件については、「香川県中学校部活動地域移行等推進協議会」のなかにワーキンググループを設置している。担当者が集まり、それぞれの市町で困っていることや成果などの情報交換をし、県内が同じように進んでいけるように取り組んでいる。

香教組 「人材バンク」は部活動の指導者か、地域移行推進のための指導・助言のための人材確保なのか。

指導者の確保だ。地域移行の事業が始まつたときに、そこに不足している指導者を補っていくことが目的。

指導・助言については、コーディネーターを設置した。そこが、各市町に指導・助言を行う。

コーディネーターは、香川県中学校部活動地域移行等推進協議会」やワーキンググループにも参加し、指導助言したり、全国の情報を提供したりしている。



香教組の要求に対して答弁する淀谷教育長

特別支援教育・特別支援学級については、私は少し認識不足だったのかかもしれない。あらためて職員から聞くなどして、何ができるのか、考えてみればと思つている。

採用の話は、できる限り正規での採用を増やしていくように考えていければと思つている。

しての課題も見え始めている
香教組 教員になりた
くない理由の第
2位が部活動というアンケー
ト結果もある。高松市のように
に人口が多く、民間のスポー
ツ団体や芸術教室などがある
ところは、地域移行がスムー
ズに進むと思うが、過疎地域
では、そういう環境がない。
最終的に、教員を動員するこ
とになると、教員離れが加速
するのではないか。過疎地域
への転任も敬遠される。地域
間の格差がないようにしてもら
いたい。

いっては、東かがわ市はどちらかといえばうまくいっていると認識していた。個別にみると、いろいろな課題がでてきたところもあると思う。そういったところを聞きながら、対応を考えていきたい。

部活動は、今後、地域に移行していくことになると思うが、そこで、教職員に新たな負担が増えることは、本末転倒。いろいろなことを考えながら、対応を考えていきたい。

実効性のある働き方改革については、教員の数、業務の適正化、いろいろなもののが関連しあって、具体的な対策を取つていく必要があると思つている。県教委もそういったことを肝に銘じて対策をとつていくよう考えていくこう。そして、実際に動かしていくよううにしたいと思つていい。よろしくお願ひしたい。

